

【市からのまとめ】

- ・ 公民館については、昭和55年以前に開館したもののうち、麻溝公民館を除き、すべての改修が済んだため、今後は昭和56年以降のものについて建て替え整備計画をつくっていききたい。
- ・ 昭和56年の開館は相原公民館と小山公民館、昭和57年が清新公民館と星が丘公民館、昭和58年が中央公民館である。
- ・ 利用率や老朽化の度合い等の関係もあるが基本的には建築年度に応じて改修を進めることになると思われる。
- ・ 改修するときには皆さまに建設委員会をつくっていただき、使い勝手等を含めてご意見を聞きながら行っていくことになる。
- ・ 地域市政懇談会では、どの地区も自分の地区の公民館の改修が一番早いだらうと期待するが、教育委員会において今年度以降、改築計画を策定して進めていくことになる。
- ・ 本日は中央地区の皆さまの熱い思いを受けとめることができた。
- ・ トイレについては、学校の場合、大規模改修に間に合わないのので先にトイレだけ改修を行っている。
- ・ 公民館でも、極端に使えなくなった場合には修繕するが、基本的には効率よく対応するために大規模改修時に改修していききたい。
- ・ 公民館を皆さまに使っていただき、市としても感謝している。
- ・ 地元の公民館の組織もしっかりしており、文化的な部分で誇れるものの1つだと思っている。
- ・ 活動の場や拠点をしっかり整備していくのは市の役目だと思っている。
- ・ 美しい街並みについては、政令指定都市を目指す市として、ただ人が集まればよいのではなく、潤いがあり、この地に生まれてよかった、この地に住んでよかった、いつまでも住み続けたいと思われるまちをつくりたいと思っている。
- ・ 旧市は街並みがある程度できてしまっているが、中核市以上は都市景観法に基づいた街並みの景観をつくらなければいけない義務があるので、ある程度ポイントを絞り、これから進めていくことになる。
- ・ 地区計画や建築協定の手法があり、豊町では、地域の皆さまが長い年月をかけて、地区計画で自分たちのまちの基準づくりを行った。
- ・ 特長ある自治会活動している24自治会に職員を派遣し、自治会加入率を上げるためにも、事例をまとめて事例集をつくらうとしているが、その中でも豊町が掲載されていたと思う。
- ・ 市でもアドバイザーや職員等を派遣し、現在32の地区計画ができています。
- ・ 大きなことも必要かもしれないが、足元の街並みについても考えていききたいと思っている。
- ・ 落ちついた文化の薫るまちづくりのためにも、これらの手法があるので、ぜひ担当にご相談いただければと思っている。
- ・ 時間がかかることなので、皆さまと相談しながら進めていききたい。
- ・ ブロック塀については、新潟県中越沖地震でも、ブロック塀によって亡くなった方が多くいた。
- ・ 日本の農耕民俗の風習で、どうしても自分の家をしっかり守りたいとの思いがあるが、生垣の助成制度を行っているのでも、地区計画の中でも生垣をなるべく進めていただきたいと思う。
- ・ 市役所周辺の駐車場については、議会でも70万都市の市役所なのに駐車場ばかりで殺風景なので、市役所前の駐車場を緑の広場にしなさいとの意見がある。

- ・ 市としても、NTTや郵便局、警察、国の合同庁舎等と連絡協議会をつくり、市民会館の裏の駐車場を2階建てにすることや、手前の2階建て駐車場を4階建てにする等の検討を進めている。
- ・ 調査によると、時間によっては混んでしまうが、駐車台数は今のところ足りているとのことである。
- ・ 市では問題意識は持っているのですが、それらも含めて検討を進めていきたい。
- ・ 駐車場については有料化の声もあるが、市としては有料化ではなく、駐車場の確保について検討を進めているので、もうしばらく時間をいただきたい。
- ・ 中央地区は市役所周辺だが、市役所周辺では市民桜まつりやねぶたのパレード等もあり、官庁街で多くの方が集まるところなので、歩道等もきちんと整備していきたい。
- ・ 市役所周辺が市の中心地だと思う方が多くいるので、文化薫るまちにしたいとの皆さまの気持ちに応えていきたい。
- ・ 市役所前の通りには桜とけやきの落葉樹があるが、けやきの葉がとくに落ち、詰まってさびてしまうので切ってほしいとの声や、けやきの形が崩れるので切るなどの声などがある。
- ・ 市も県も街路樹の維持管理については1億円以上かけており、特に国道16号は相模原市の街路樹が非常にいい、オアシスを感じるなどの声もある。
- ・ できるだけ街路樹を大事にしながら、電線も含めてしっかりと守っていきたい。
- ・ 市としても皆さまと話し合いながら一步一步進めていくので、ぜひこれからもよろしくお願いしたい。